

今を未来に

6年生 修学旅行に行ってきました。(11月21日・22日)

6年生は先週の21日・22日に紅葉真っ盛りの京都へ修学旅行に行ってきました。今年には10年以上続いていたキッザニアから東映太秦映画村に見学先を戻したので、その前後の行程も変えることができました。

集合時刻は、6時45分でした。朝焼けがとってもきれいで、この日は天気を心配しなくてもいいかなあと思って学校を出発しました。昨年度の自然教室に続いて、全員参加の修学旅行となりました。

【1日目】耳塚⇒旧岡崎公会堂⇒京都大学学食⇒銀閣寺⇒金閣寺⇒

立命館平和ミュージアム⇒龍安寺⇒清水寺(買い物)⇒祇園佐の(夕食・泊)

バスレクをしながら京都を目指し、まず耳塚へとバスを進めました。耳塚に着くと、人権ボランティアガイドの方が待っていてくださいました。A組・B組に分かれて、耳塚・旧岡崎公会堂・銀閣寺の歴史的な意味合いを人権的視点で子どもたちにお話をしてもらおうためです。耳塚では朝鮮の国を侵略しようとした歴史を通して、今起きていることや命の大切さを子どもたちが考えてみてほしいと思っていました。



また、旧岡崎公会堂では3日前にお話を聞いた清原さんの話を思い出しながら、差別を無くそうとした取り組みがここから発信されたこと、行動に移すことの大切さを感じ取ってほしいと思いました。さらに、銀閣寺ではその庭園の美しさや慈照寺の趣を通して、この庭を完成させた又四郎の言葉を思い起こしてほしいと願っていました。こうした願いは、このあとの立命館平和ミュージアムの見学や龍安寺の枯山水の庭園見学にも込められていました。

子どもたちは、人権ボランティアの方の説明の中に何度か出てきた非科学的な言い伝えのお話、「えっ？それっておかしいよね。」「言い伝えの中には男女の違いにまつわる話が多いけど、今では考えられやん。」などと、突っ込みを入れながら、見学をしていて、子どもたちの方が人権意識が高いこと、見学マナーを心得ていることに感心しました。

龍安寺から清水寺への移動は、今シーズン一番の渋滞に巻き込まれ、1時間以上かかってしまいました。渋滞中トイレに行きたくなる子もいて、バスの運転手さんの機転でその難問を乗り越え、清水寺に着いた時は、もう日没後でした。いつもならシャッターが下りている時刻でしたが、紅葉シーズンで清水寺もライトアップがあるため、ほとんどの店が開いていました。予定の半分の時間になってしまいましたが、事前にお店を調べたり、お土産を計画してあったこともあって、ほとんどの子が予定通りの買い物をして、予定通りに集合場所に戻ってきました。今年の6年生の行動力、団結力がここでも発揮されました。

お買い物を終え、旅館「祇園佐の」に着きました。30分遅れでしたが、てきぱきと行動し、夕食で準備していただいたすき焼きを完食し、楽しみにしていた部屋での自由時間も楽しみ、就寝をしました。かなりの子が、布団に入りながら、いろんな話をしていたそうですが、寝ている子には迷惑をかけない配慮は忘れていませんでした。



【2日目】清水寺（早朝）⇒三十三間堂⇒二条城⇒東映太秦映画村（班行動）

朝は5時30分に起床し、早朝の清水寺見学に行きました。空気はとても冷たく感じましたが、二年坂・三年坂・清水坂を歩いていくうちに、うっすら汗をかきながら、清水寺の舞台に立ちました。清水寺の舞台は現在改修工事中なのですが、京都の町や紅葉している木々が朝焼けに照らされ、本当に美しい景色でした。その後、音羽の滝の水をいただきました。最後の最後までどの水にするか悩んでいる子も何人かいました。

旅館に戻り、朝食を食べ、三十三間堂と二条城の見学をしました。三十三間堂では自分の顔や友だちの顔に似た仏像を探し、二条城では大政奉還が行われた歴史を感じ、鶯張りの音の秘密を確かめ、お待ちかねの東映太秦映画村に着きました。映画村の中は、昼食後班行動です。アトラクション1回分の券を持ち、子どもたちは急ぎ足でお目当てのアトラクションを目指しました。一番人気はお化け屋敷でしたが、30分ほど並ぶことや、とにかく怖いから入りたくないという子もいるので、他のアトラクションと別れて、落ち合う場所を相談している班もありました。私も映画村は久しぶりで、リニューアルされてからは初めてでしたので、その変わりように驚きながら、お化け屋敷と一緒に楽しみました。

帰りの亀山付近の渋滞も予定通りで、バスレクも先生たちが用意していたCDの歌に合わせて盛り上がり、学校に予定通りに帰ってくることができました。全行程を全員参加で終えることができた子どもたちに大きな拍手でした。

全校 かけ足・持久走も仕上げです。

11月13日から取り組んできたかけ足（30分休み・5分走）と持久走（ペース走を身に付け、一定の距離を走り続ける）も仕上げとなってきました。特に持久走では、たくさんの保護者の方が応援に来てくださり、子どもたちもやる気満々の様子です。



この日（27日）は、5年生が学年で持久走に取り組んでいました。走っている子が頑張ろうという気持ちで取り組んでいることはもちろんですが、記録をとっている子どもたちがペアーの子を応援する、その姿がいいなあと思いました。先日低学年のある保護者の方が担任への連絡で「今年は昨年に比べ、一人ひとりが頑張っていて走っていたと思います。」と、お手紙をくださいました。とてもうれしいお手紙でした。昨年度は雨が多くて、かけ足だけでなく、持久走の記録会も思い通りにできなかったこともあったかとは思いますが、止まらずに走り続ける心と体の力がついてきた子が多くなってきたのかなと思っています。